

麻生区区民会議 第17回専門部会 市民活動・絆づくり部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成30年3月22日（木）午後3時～午後5時
- 2 開催場所：麻生区役所 第4会議室
- 3 出席者：[専門部会委員] 植木昌昭委員、緒方保委員、海崎眞委員、佐藤昇平委員、佐野幸子委員、鈴木隆広委員（部会長）、高橋慶子委員（副部会長）、松田通委員（欠席） 関根秀勝委員
[事務局] 企画課 安藤課長、福島係長、榎本 [コンサルタント] 中島、永野

4 傍聴者：0名

5 議 題：

1. 調査・審議課題の検討について

(1) 前回の審議内容の振り返り

- ・『市民活動・絆づくり部会』における前回の審議内容を振り返った。

(2) 報告書の検討

【今後の方向性】

- ・委員の意見をもとに、報告書の内容をブラッシュアップしていくこととした。

【主な意見】

- ・区民会議フォーラムの広報活動について、丁寧を書いてほしい。
- ・信用度が高い発信元から得られる情報の方が好まれやすいと記載してはどうか。
- ・資料3の9頁下段の位置づけに関してもう少し説明が欲しい。現状だと唐突なイメージがある。

(3) 提言の検討

【今後の方向性】

- ・子どもに的を絞ったイベントの有効性、継続性が必要との合意を得た。
- ・今後は、既存の団体、イベントとの連携のあり方、担い手づくりのサイクルの実現に向けた将来的な展望など、具体的な提言とするための検討を継続することとした。

【主な意見】

- ・イベントの反省点を踏まえた上で継続性を持つことは賛成だが、イベントをやること自体が目的ではないと思うので、大きな哲学、目標を忘れた提言とすべきではない。
- ・行政との協働のあり方を考えないとイベントの継続性を担保できないのではないか。実行委員会を立ち上げるだけでは続かないのではないか。
- ・既存の団体やイベントとの連携、協力の方が、新規立ち上げよりも継続できるのではないか。

- ・仲間づくり・絆づくりや、日頃市民活動に関わっていない人が参加するきっかけを作ることが目標であって、イベントは手段の一つ。イベントのみを提言するのは短絡的な気がする。
- ・イベントに加えて、今後の展望について触れる提言としたい。
- ・絆を作る手段の検証としてフォーラムを実施し、的を絞ることが有効であることが確認できた。今後の提言としては、子ども関係のイベントをどうやって深化するか、また、子どもでないテーマをどのように広げていくかを考えることで幅広い提言となるのではないか。
- ・テーマを子どもに絞ったことで成功したわけだから、それを深める提言とすべき。テーマを絞れば他団体と協力しやすく、既存のイベントを踏まえたあり方を考えることが必要である。
- ・運営委員会のあり方を論じるのではなく、既存の団体との連携のあり方を提言すべきではないか。
- ・子どもに絞ったイベントの有効性が検証されたのだから、2～3年後を見据えて区内で別々に行っている団体が連携するなどして、子ども向けの大きなイベントの開催を大義として打ち出してはどうか。そのために人が集まれば、個々で行うより、実効性が高い。
- ・子どものイベントを通じて、地域とのつながりが浅い親世代に参加してもらうことで、地域とつながってもらえるかもしれないという可能性が見出せたことを提言に盛り込むべきではないか。
- ・子どもを対象とすることで、多世代に波及する効果があることも提言に盛り込むべきではないか。

2. その他

- ・事務局より区民会議意見交換会の報告、区民会議ニュース5号の印刷・発行を報告した。
- ・次回は4月12日（木）に開催することを伝達した。
- ・事務局は次回までに麻生区内の子ども向けイベントやその主催者等を整理した資料を準備することとした。

以 上